

# 野菜 くだもの 米通信

発行：2014年2月24日

## 速報大雪被害 全国ハウス倒壊1万件超

先週2月3回では数多くの欠品が発生し、申し訳ございませんでした。2月14日からの大雪で東都生協の多くの産地も被害を受けています。また、主要道路の通行止めが続き、産地からの納品便も混乱しておりました。まだ、集約もままならない状況で被害の詳細が見えていませんが、現在わかる範囲の各産地状況をお知らせします。



埼玉産直センター

雪の重みで集荷場が倒壊 (2/15)

### 埼玉産直センター

東都生協に一番多くの野菜を供給している埼玉産直センターでは2月8日の雪が残る中、今回60cmを越える降雪があり、その後の雨により雪の重みが増したことでハウス施設の約7割が崩壊してしまいました。

## 登録百年トマトは企画中止と致します

今回一緒に配布している3月2回の商品案内「さんぼんすぎ」で登録百年トマトを募集しておりますが、大雪被害により、トマト施設の6割近くが崩壊したため、今季は企画中止と致します。

3年目を迎え、産地・生産者とともに準備を進めていたところで、とても残念ですが、一度被害にあったハウスは樹が弱りトマトの回復見込みがなく、産地の全体量が大幅に減少することから、中止の結論に至りました。楽しみにお待ちしておりますところ、大変申し訳ありません。



倒壊したブロッコリー施設 (4月出荷予定)



百年トマト関本部会長のハウス



百年トマト高柳さんのハウス

### ◆被害を受けたハウスの面積 (%)

いちご74%、ミニトマト68%、  
ミディートマト54%、ブルームきゅうり52%、  
春トマト49% (※埼玉産直センター第一次集約)

これから2月から3月に最盛期をむかえるいちご、だんだんと出荷が始まり5月、6月に向けて旬をむかえるトマト、ミニトマト、まさにこれからという時期です。露地野菜も雪の影響で収穫量が落ち込むことが予想されています。

### ◆百年トマト生産者 高柳さんより

2月16日の早朝見た時に立っていたハウスが、午前8時過ぎから雪の重さで倒壊・・・今もハウスの中には手付かずのトマトの苗が残ったままになっています。このようになると思ってもいませんでした。

見るたびに悲しくなりますが、百年トマトの生産者では現在の栽培施設、面積を取り戻すよう準備しています。

今季はお届けできませんが、来年に向けて、百年トマト復活に向けて頑張っていきます。

### JAやさと (茨城県)

今回の降雪は少なかったが、台風並みの暴風や大雨となりました。一部の畑やハウスで浸水した場所も発生しており、露地野菜での収穫、出荷量の減少が見込まれます。

### 茨城県西産直センター

かなりの降雪があり、明け方から昼にかけて台風並みの暴風雨が吹き荒れました。多くの畑は水分を大量に含んだ雪が残り作業ができず、一部雪の重みで潰れてしまったパイプハウスも見られます。当面の間、出荷数量の減少など影響がでる見込みです。

### 埼玉西部産直グループ

50cm程の降雪がありました。農機具を置いているハウスが倒壊してしまっています。露地野菜中心ですが、この時期は保温の為にかけているトンネル状の被覆資材が潰され、生育中の葉物野菜の傷みが心配です。

## ■ 2月16日～21日までに聞き取った産地の被害情報

都道府県	産地	主要品目	被害状況
栃木	栃木おいしい会	いちご	会長の須藤紀明さんのハウス11棟のうち6棟が倒壊。それ以外は被害の発生はなし。
山梨	山梨フルーツライン	桃 ぶどう	積雪が1m以上あり、出荷ができない状況。復旧の見込みがなく、干し柿の出荷は難しい。東都生協の行事で14日東京に来ていた手塚社長と他2名は、17日時点でまだ新宿に足止めされている状況。ハウスぶどう（ピオーネ、ロザリオピアンコ、シャインマスカット）が倒壊。加温中のため、ギフトや共同購入の企画に大きな影響がでる可能性がある。
	JAふえふき	桃	産地直送便のハウス桃が倒壊。ギフトの企画は中止。
	白州森と水の里センター	みのり野菜	前回の雪で鶏舎がつぶれ、さらに今回の雪で被害が大きくなっている。育苗や大葉のハウスも崩壊。被害はまだ把握できていない
	北杜ベジファーム	モロッコいんげん 無無玉ねぎ ほか	生産者井上さんのハウスは無事だったが他の生産者のハウスが倒壊している。現在確認中だが5棟くらいは倒壊していると思う。
	グットファーム	みのり野菜	先週の残雪と合わせて2メートルの積雪で、ハウスが倒壊している。除雪もままならず自宅周辺100m位しか移動できない状況で圃場の確認ができません。
福島	アグリ福島	有機ブロッコリー	東都出荷分も含めてハウス13棟分が倒壊、全体で8万本のブロッコリーが壊滅4月出荷分が5月にずれ込む
群馬	野菜くらぶ	小松菜 高原レタス	ほうれん草の定植をしていたハウスが一部倒壊したので栽培計画を見直す。露地が出てくるまで厳しい状況。
	くらぶち草の会	みのり野菜	現在出荷中だったのほうれん草のハウスが倒壊。雪が深く、全体の状況を把握できていない。
	北軽井沢産直会	高原レタス キャベツ	育苗ハウス11棟が潰されて、5月の出荷が厳しくなる予測
	利根農民の会	トマト 大根	ハウスの被害は免れている様子だが、車庫が押しつぶされ、車2台破損
埼玉	埼玉県産直協同	キャベツ 玉ねぎ とうもろこし	まだ詳細を確認できていないが、今季残っているものは小玉キャベツのみで雪に埋もれているだけだが、玉ねぎの苗が心配。しいたけの施設が一部壊れているようす
長野	トップリバー	高原キャベツ	育苗ハウスがつぶされ、現在他で栽培している苗を手配しようとしているけれども、5、6月の出荷が難しいかも知れないとのこと。片付けの人手が足りていないようです。
	久保産直会	露地トマト じゃがいも	例年は30cmくらいの積雪のところ、今回1m。ビニールをはがしていないハウスはほとんどつぶれてしまった。新設するにも材料が不足するかもしれないとのこと。マイナス10度の気温で雪がなかなか溶けない。トマトの播種は3月下旬なのであと1ヶ月は猶予がある
	佐久産直センター	りんご プルーン モロッコいんげん	野菜のハウスが倒壊、果物の樹も一部折れてしまってる。21日の時点でも山間部は把握できていない。東都生協の行事で14日東京に来ていた2名は18日の朝まで確氷峠で足止め、車中で3泊過ごした。
宮城	JAみやぎ仙南 丸森町	米	孤立地域は特に山間部、2/20朝時点でまだ2世帯が孤立、一部の地域で停電となった。園芸関係のハウスが40～50件倒壊（調査中）。生活物資も一時滞ったが、孤立地域を除いては大きな影響が出るほどではない。
	JAみどりの 田尻	米	育苗ハウスに若干の被害があったが、ほぼ平常な生活となっている。宮城県でも仙台以南は被害があるようだが、以北はそれほどの被害ではない

今後は被害のない産地や少ない産地から応援をもらいながら、お届けしてまいります。

また、産地支援企画や募金なども現在検討しておりますので、その際はぜひご協力お願い致します。